

# 校長室より

令和5年3月8日(水)

「挑戦」



先日の6年生を送る会は、久々に全校児童が集まったの開催ということで、とても盛り上がりを見せましたね。大きな歌声の披露はなかったものの、各学年とも工夫を凝らした発表はとても見応えがありましたし、それまでの準備や練習を思うと本当に頭が下がります。特に5年生のみなさんは進行役ということもあって、なおさら大変だったでしょう。みなさんの活躍ぶりはしっかり見ていましたよ。おつかれさま。

さて、今回は「挑戦・チャレンジ」の話をしていきます。このタイトルを聞いて、ピンときた人もいるかもしれません。これは、丸岡文化財団が毎年行っている「一筆啓上賞 日本一短い手紙」の今回のテーマなんです。

先日、その入賞者発表会に参加したとき、ちょっと心に残った作品があったので紹介します。これは県内に住む小学校1年生の女の子の作品で、おかあさんに宛てた手紙です。

おかあさんへ

これからもいっぱいおてつだいがんばります。

だっていもうとはわたしのまねをするから

この女の子にとっての「挑戦」は、これからもおかあさんのお手伝いをすること。その理由がとてもユニークなんです。おそらく、この女の子の妹さんはやんちゃで、おかあさんを困らせてばかりいるのでしょうね。でも、お姉ちゃんは気がついたんです。妹は自分のまねをしていることに！

そこで、お姉ちゃんは自分のがんばる姿を妹に見せれば、妹はきっとまねをして、お母さんを手伝ってくれる。そう考えたのでしょう。

4月に進級、進学を控えているみなさん、ひょっとしたら、今までのあなたたちの気ないふるまいや笑顔が他の誰かを勇気づけたり、希望を与えたり、元気にさせたり、心を動かしたりしているかもしれません。

